

保育おおさか

No. 449

平成 25 年 1 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/>



写真：堺東保育園

2013

あけまして
おめでとぅございます

新制度の本格的議論を注視 迅速な対応求められる年



保育部会長 永野 治男

新年明けましておめでとうございます。

昨年、保育部会として「地域貢献支援員養成研修・育児相談員養成研修」の一本化や新規事業である「保育士養成校との研究懇談会」を実施しました。また、大阪府から各市町村へ権限移譲がなされる中、各プロックでの相談体制の構築や常任委員会での意見交換を実施してまいりました。

本年は、さらにその取り組みの推進を行い、近年顕著である保育士不足への対応として、養成校との懇談会を会員保育園対象に実施し、養成校との連携を密にしなが、保育人材確保とより良い保育士の養成に努めてまいります。

また、権限移譲について

は市町村間での指導内容・指導基準の相違による混乱を招かないよう、またより良い保育内容を目指し、より一層の支援体制の強化や行政への働きかけに取り組んでまいります。

視する必要があります。また、各自治体においても地方版の「子ども・子育て会議」の設置が努力義務化されことに伴い、各地域で設置及び参画についての働きかけが重要となります。保育部会として迅速な情報提供と地方版の「子ども・子育て会議」の設置及び保育園関係者の参画について各方面への働きかけなどを行っていく所存です。

トします。今後の動向を注

結びに、皆様方のさらなるご健勝とご発展を心よりお祈りして、新年の挨拶といたします。

子どもとともに 我々も笑顔忘れずに

保育士会会長 高田テルミ



新年あけましておめでとうございます。已年のスタートです。

昨年は、「社会保障と税の一体改革」とともに、子ども・子育て関連3法が可

決されました。それに基づく新たな子ども・子育てに関する制度がいよいよ本格的に動き出そうとしています。さらに、児童福祉施設の最低基準が都道府県へ条例委任され、保育園の設置基準が各地域で決められるために、地域格差が生じないか懸念しています。

また、東日本大震災への

新たな制度の 円滑な実施に向け準備

大阪府子ども室室長 里中 享

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、大阪府社会福祉協議会保育部会の皆様方には、本府保育行政のみならず、児童福祉行政全般の推進に御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年8月に、国におきまして、子どもの教育・保育、子育て支援を総合的に進める「子ども・子育て関連3法」が公布されました。早ければ、平成27年4月から、この法律に基づく新しい制

継続した支援活動とともに、我々も災害に備えた体制づくりを行い、子どもの安全確保に努めなければなりません。

そのような中でも、私たちは子どもの発達の連続性を大切に、豊かな育ちを保障する責任があります。そのためには、研修を通じて自らの人間性や保育士としての専門性、資質を向上していくよう努め、また、

度がスタートします。

大阪府では、地方に新たな事務や財政負担が生じることが見込まれるため、引き続き、市町村や保育に携わる皆様方の御意見を踏まえながら、恒久的・安定的な財源確保など国に対して必要な働きかけを行ってまいります。

また、大阪府としましては、新たな制度の円滑な実施に向け、必要な準備を進めるとともに、それまでの間は、「子ども・未来プラン後期計画」に基づき、保育や社会全体で子育てを支援するための取り組みなど、着実に施策を推進してまいりますので、より一層の御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

我々の専門性に基づいた「保育」を発信し、地域社会に理解されることが大切だと思います。

大阪府保育士会は、子どもたちの笑顔が保育園のみならず地域においても輝き、保育士の資質向上の一助となるように活動をすすめてまいります。「我々も笑顔忘れず」今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

また、大阪府としましては、新たな制度の円滑な実施に向け、必要な準備を進めるとともに、それまでの間は、「子ども・未来プラン後期計画」に基づき、保育や社会全体で子育てを支援するための取り組みなど、着実に施策を推進してまいりますので、より一層の御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

保育サービスの 量的拡大と質の向上へ

大阪府子育て支援課課長 福山 喜彦

新年あけましておめでとうございます。

待機児童の解消をめざし、保育所の緊急整備に活用してきた「安心こども基金」につきましては、国において昨年11月に、実施期限の1年延長と積み増しが決定されました。

大阪府におきましては、これまで保育部会の皆様方の協力を得て、保育の量的拡大と質の向上など保育サービスの充実に取り組みでまいりましたが、引き続き、新たな子育て支援制度の動向も見守りつつ、この基金も有効に活用しながら、市町村と連携して取り組みを進めておりますので、今後とも御支援、御協力をお願いいたします。

本年が皆様方にとって実り多い年となりますことを祈念いたします。

正確な情報をいち早く伝える

北摂ブロック保育部会 武内 慎吾

昨年8月、3党合意で成立した子ども・子育て関連3法の内容は今年中の検討事項が多く、まだまだ正しい判断ができません。先の衆議院選挙では自民党が圧勝しましたが、政権党によって、検討内容にも多少の影響

子どもを学ばせて育てる保育を

北大阪ブロック会 東口 房正

政権交代から3年3カ月、やっと解散総選挙で政権政党が変わります。例えば「トラストミー」と日米関係を悪化させた方、ヘリで現地視察し、震災と原発対応でその場

子どもらの未来にあるべき姿求めて

河内ブロック会 高山 昌弘

昨年暮れ、正念場を迎えた日本の未来をかけた総選挙が行われました。新しい政権与党には、最初から批判的に見るのではなく、日本のためにきつと誠心誠意努力さ

培う場としての保育園を運営する責務があります。地域福祉への貢献も念頭におかなければなりません。

揺れ動く情勢の中、正確な情報を会員の皆様にいち早くお伝えし、正しい判断ができますよう努めたいと思います。本年もよろしくお願ひします。

で、まだ「保育Ⅱ託児」と認識している多くの方々を、今回の制度改革を機に我々が変わる意気込みをもつていくべきだと思います。皆様方におかれましては「子どもを学ばせて育てる保育」への協力とご支援をお願い申し上げます。

— いずれも難しい選択が政府にも国民全体にも問われるでしょう。あの可愛い子どもたちの明るい未来のためには、何がどうあるべき姿なのか？その視点を常に忘れることなく努力していきたいものです。本年もどうぞよろしくお願ひします。



ブロック長からの年賀状



子どもと家庭が主体の保育制度を

南大阪ブロック民間保育園連盟 中島 一

昨年この欄で「ソーシャル・ネットワーキング・サーブিস」について触れましたが、年末の衆院選挙においても、選挙運動での利用が公職選挙法との兼ね合いで話題となっていました。

保育を必要とする子どもたちのために

堺市民間保育園連盟 池尾 弘久

堺市の待機児童はまだら模様となり、地域差が生じるようになってきました。堺市は、待機児のあるところに関しては、保育園の創設を考えています。今後は、堺市と協議を

安心して子育てができる地域に

泉州民間保育園協議会 田中正清

子ども・子育て新システムに変わり、議論されてきた関連3法により認定こども園の拡充で幼保一元化が進められることとなりました。

どのような制度になろうと、保育園は地域の子

討が必要な時期に来ているのではないのでしょうか。

政権与党が変わった今年こそは、保育制度においても、子どもと家庭が主体。経済状況や政治に振り回されることのない、新たな保育制度がスタートできる一年になることを願っています。

のまま保育をするか。自園の存在そのものについて、各園が考えなければなりません。国の制度が変わっても、保育を必要としている子どもたちはなくありません。私たちの仕事は、世の中に必要とされています。今年度も、保育に邁進して参ります。

できるかを各園が考え、地域にマッチした保育園にならなければなりません。

地域の皆様が、保育園があるから安心して出産・子育てができるという思いをもてるようになれば、少しは少子化に歯止めが掛けられるのではないのでしょうか。

清 和保育園は、南海本線泉佐野駅から5分の「駅近の園」です。関西国際空港や他市へ通勤する保護者も多く、午後7時15分までの延長保育を実施。昭和44年開園、平成17年の新園舎竣工以後の定員は150人です。「子どもの生命を預かる保育園は、園児の安心安全を確保し、健やかな育ちに役立てることが使命」。この基本を職員は大切にしています。



クリスマス発表会の合奏

園児の安全・安心確保を基本に 延長保育も行う「駅近の園」

クリスマス発表会はホールで
国際社会に活かす「英語耳」

泉佐野市

清和保育園

(編集委員 Y・S)



462



願いから、主に4・5歳児を対象に英語指導を行っています。外国人教師が常勤、日常的なふれあいも大切にしています。早期の英語教育の是非についてはさまざまな意見がありますが、「子ども時代に身につけたものは、再びやれば直ぐに思い出す」を信念に、日々の保育にも活かされています。



4歳児クラスの英語指導風景

京都・伏見の歴史にふれる

— 府外園長研修会

11月20日、秋真っ盛りの京都・伏見へ。バスツアーコースと自由散策コースに分かれ、伏見を散策しました。バスツアーコースは、京都・伏見から十石舟に乗り、寺田屋、月桂冠大倉記念館を見学した後、御香宮神社で自由散策コースの参加者と合流し、一緒に研修会に臨みました。



三木 善則 氏

研修会では、御香宮神社の宮司を務めておられる三木善則（そうぎよしなり）氏が「幕末と伏見」のテーマで講演。三木氏からは33代、600年以上、ご当地伏見の歴史と共に歩んでこられた三木家ならではの話を聴くことができました。



川から伏見を堪能

さまざまな情報も飛び交う中、幕末から明治維新へと時代が進む様子を解りやすく話され、興味深く聴くことができました。150年前、9人の薩摩藩士が犠牲になった寺田屋事件や、平成の寺田屋騒動といわれる寺田屋再建のこと、明治天皇の皇太后の夢枕に坂本龍馬が現われたことなど、伏見ならではの話を聴き、鳥羽伏見の戦いで使われた大砲の弾も見せていただきました。今まで積み重ねられた歴史の逸話にふれることができ、歴史を積み上げる大切さを実感した一日でした。(編集委員 A・O)



● よい子ネット活用術 ●

アクセス件数に表れる 「大きなトピックス」の効果

羽曳野市 高屋保育園での活用例

アクセス件数を確認し、
次の更新につなげる

「よい子ネット」を日々
更新するにあたって、一番
気になる、あるいは最も知
りたいことは何でしょうか？

それは、やはり「アクセ
ス件数」だと思います。つ
まり、自分の更新したペー
ジをどれだけの人が見てい
るのかです。私は、「よい
子ネット」を更新する際
には、まずここをチェックし
ます。(図1)

ログイン後、トップ画面
を確認しましょう。2段目
に「アクセスログ」という
項目があります。本日の閲
覧数と前日の閲覧数が確認

図1

できます。平成24年12月3
日・月曜日のアクセス件数
は178件、2日・日曜日
のアクセス件数は96件でし
た。当園の家庭数は110
程度ですので、3日・月曜
日は、それを上回るという
アクセスがあったという

	A	B	C	D
1	日別	高屋保育園		
2	施設名	高屋保育園		
3	日付	PC	モバイル	合計
4	2012/4/1	5	119	124
5	2012/4/2	11	95	106
6	2012/4/3	11	66	77
7	2012/4/4	10	24	34
8	2012/4/5	15	49	64
9	2012/4/6	8	76	84
10	2012/4/7	26	310	336
11	2012/4/8	3	72	75
12	2012/4/9	11	56	67
13	2012/4/10	7	24	31
14	2012/4/11	18	69	87
15	2012/4/12	4	83	87
16	2012/4/13	8	23	31
17	2012/4/14	26	36	62
18	2012/4/15	3	11	14
19	2012/4/16	6	21	27
20	2012/4/17	2	31	33
21	2012/4/18	22	41	63
22	2012/4/19	5	41	46
23	2012/4/20	8	34	42
24	2012/4/21	26	171	197
25	2012/4/22	8	60	68
26	2012/4/23	9	36	45
27	2012/4/24	5	34	39
28	2012/4/25	18	26	44

図2

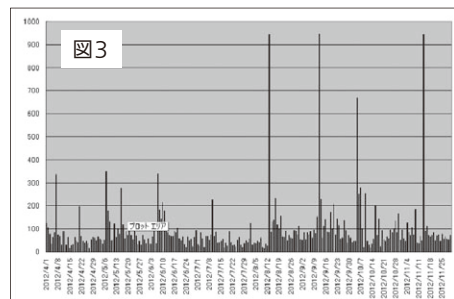
これだけの人が見ていた

3)

当園では、「よい子ネッ
ト」を導入する以前から、
自園のホームページがあ
りました。この4年間ほど

自園のホームページ との両立を

だいていると思うと、明日
への更新意欲がまた湧いて
きます。ぜひ皆さんも活
用ください。



は、その両立または使い分
けを模索し続けてきまし
た。当初、ホームページはパ
ソコンで見る方を対象に、
「よい子ネット」は携帯の方
を対象に、ほぼ同じものを
つくっていました。同じ内
容を2度更新するため手間
がかかり、更新頻度が少な
かったのです。また「よい
子ネット」のヴァージョン
アップに伴い、パソコン、携
帯ともに十分網羅でき、自
園のホームページの存在意
義について、ますます悩ま
されることとなりました。



図4

そんな時、「よい子ネッ
ト」をブログのように活用
されている園があること
を知りました。「あ、これ
や!」とビビッときました。
そうです、「よい子ネット」
は本来ブログなのです。こ
の基本に立ち返り、4月か
らは自園のホームページを
ひとつのツールとして定義
付け。ホームページのトッ
プに「ブチNEW」という
バナーを置き(図4)、こ
こをクリックすれば日々の
保育園の様子を見られるよ
うにしたわけです。もちろ
ん日々の更新は、スマート
フォンで撮影し、私が行っ

ています。ほんの些細なこ
とでも、毎日ワンショット・
ワンセンテンスを心がけて
います。

大きなトピックス

河内

魅力的な職場づくりに

―八尾私立保育所連盟保育士会

11月27日生涯学習センターで「より良い保育提供のための魅力的な組織づくり」をテーマにした研修会に96人の保育士が参加しま



増田 知乃氏

した。講師の増田知乃氏（人材育成コンサルタント）は、「よりよい保育を目指すのは保育関係者の課題であり、魅力的な組織づくりが

不可欠」と、3つの項目を指摘しました。

①魅力的な組織を支える人の育て方

好意的に聴き合う関係づくりに、少しの自己開示と傾聴スキル（うなずき・相槌・くり返し・質問）が必要。職場では、お互いが知っていることを教え合う組織をつくる。教える側には必ずその理由と根拠が必要であり、各自の自己啓発

が必須。考えさせることが大事。「やらされ仕事」にしない。

②説明のスキルアップ

相手に教えるときは共感のスキルをもって、その内



熱心に聞き入る参加者

容の意味・理由・根拠を明確に。可能な限り具体的に話を進める。

③組織を活性化させるリーダーシップ

職位（ポジション・パワー）や役職のもつ力よりも、個人の能力や仕事への姿勢で発揮できるパーソナルパワーの実行が望まれる。

増田氏は、「楽しい職場でないと、人は伸びません」という言葉で講演を締めくくりました。すぐにでも実践に移したいと感じた研修でした。（みよし保育園K・A）

泉州

亀岡・嵐山でリフレッシュ

―泉州保育士会三日研修

11月20日、バスで亀岡へ。

創業300年を誇る大石酒造の酒蔵「酒の館」を見学しました。お酒造り資料の展示、瓶詰工場、直売店など、お酒の香り漂う風情ある酒蔵です。酒蔵近くの稗田野神社に参拝。静かな時間を心地よく過ごすことができました。

その後、亀岡駅からトロッコ列車に乗り嵐



笑顔溢れる参加者

山へ。赤や黄に色づく木々や保津川下りの舟を車窓から眺めながら、車掌さんのアナウンスや楽しい歌声が響く車内で、秋ならではのトロッコ列車の魅力を満喫。嵐山の「良彌」で美味しい昼食をいただき、至福のひとときでした。

日頃、保育園の子どもたちの賑やかな声の中で過ごす私たちにとっては、嵐山はとても静かで、私たちの心を癒してくれました。

綺麗な木々を眺めつつ、京都の可愛い工芸品にもふれ、身も心もリフレッシュできました。今回の一日研修での体験を明日からの保育の活力にし、頑張りたいと思います。（パルティ道教寺K・U）

旬

国会売店では商品の並べ替え 懐中電灯60歳。不自由した時代の智慧

私たちの仲間から代議士が誕生。保育園の理事、監事は沢山居るが、全国初かも。地元南大阪ブロック・調査研究委員会の若い皆さんが連日連夜、運動員として選挙戦を闘い抜いた!! また、「行つてこい!!」と気持ちよく送り出してくれた園長の皆様にも感謝。

当初の風がとまり、一時ヤキモキしたが、見事選挙区で当選。今までの流れを変えて貰いたい。まあ、代議士10年生、国政の勉強から始めてほしい。

国会内の売店は早くも商品の並べを替えた。ドジョウカレントウは隅っこへ、安倍さん似顔絵入り包装紙に包まれ

如何に掛かるか、経済活動に及ぼす影響は？

あゝ消えてもた。今のネット社会の中で怖いこと。ある保育園の保護者たちがウェブサイトを作り、その掲示板で、たわいの無い話

るしかない。「民事不介入」の立場から殺人予告など傷害に関すること以外は立ち入らない。皆さん方も一度ネットで園名入れて探索してみてください。怖い話が流れているかも。「懐中電灯」の名称が使われ

さあ、12月に漬け込んだこのころが旨い。2週間ほどで水が上がつてきた頃は、まだ大根辛さが半分残り、自家製でないと食べられない代物。小正月の小豆粥との取り合わせは抜群だ。パリッ(H・N)